

岩手・宮城に 仮設診療所

AMDA計画

東日本大震災の被災地に医療チームを派遣している国際医療援助団体AMDA(岡山市北区)は5日、同市内で活動報告し、岩手県

大槌町と宮城県南三陸町に仮設診療所を建設する計画を明らかにした。

学校の再開に伴い避難所が閉鎖された後、地元医師の診療拠点を確保することが狙い。4月中をめどに両町内にプレハブの診療所を設け、心電計などの医

療機器を導入して、避難所ではできなかった本格的な診察にあたる。保険も適用する。AMDAの菅波茂代表は「避難所がなくなることは大きなターニングポイントになる。これからの診療のモデル提起になればいい」と話した。